

AIやゲノム編集、量子コンピューターなどの技術が急速に進展し、社会に大きな影響を与えています。一方で、気候変動や健康問題、不平等などの課題も増え、持続可能な未来に向けた科学技術の役割がますます重要です。

日本では2000年代以降、論文数の伸び悩みが続き、研究力の強化が課題です。科学技術の進展だけでなく、未来を見据えた「研究力を育む土壌」が必要とされています。これは、研究者、大学運営の専門家、資金配分機関、政策立案者といった多様なアクターが安心して挑戦し、新たな知的価値を生み出せる基盤を指します。この土壌を形成するうえで、これらの多様なアクターが協力し合う「共創」の文化を育むことが重要です。

こうした協力を通じて、日本や世界が直面する社会課題に対して持続可能な解決策が生まれ、次の20年に向けて日本の研究力がさらに深まることが期待されます。未来を完全に予測することはできませんが、その未来を形作るのは、今この瞬間の対話と協力です。

本シンポジウムでは、多様なアクターが対話を重ね、次世代が安心して自律的にそれぞれの役割に取り組める基盤を築くための道筋を明らかにします。

開催日

2024.12.20 FRI

時間 ▶ **10:00-15:15** 形式 ▶ オンライン視聴

PROGRAM

10:00-10:05 開会挨拶

千原 由幸 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 所長

第一部 日本の研究活動の現状

10:05-10:35

伊神 正貫

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測・政策基盤調査研究センター センター長

第二部 私の研究への行動哲学と日本の未来へのメッセージ

10:45-12:00

山下 由起子 マサチューセッツ工科大学 生物学部/ホワイトヘッド研究所 教授

大石 健一 ジョーンズ・ホプキンス大学 医学部 教授

第三部 パネルディスカッション－「研究力を育む土壌」の形成

13:00-15:00

パネリスト

杉山 将 理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長/東京大学 教授

玉城 絵美 H2L株式会社 代表取締役/琉球大学 教授/東京大学 教授

浅野 武夫 日本医療研究開発機構 (AMED) 推進役

藤原 志保 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発戦略課 課長

千原 由幸 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 所長

15:05-15:15 閉会挨拶

豊田 長康 鈴鹿医療科学大学 学長 (NISTEP 定点調査委員会 委員長)

モデレーター

伊神 正貫

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
科学技術予測・政策基盤調査研究センター センター長

総司会

酒井 朋子

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
科学技術予測・政策基盤調査研究センター 主任研究官

参加費無料

NISTEP

公開オンラインシンポジウム

研究力再考

「研究力を育む土壌」と共創の道」

次の20年を見据えた



事前参加登録は
こちら



主催



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

お問い合わせ

NISTEP 公開オンラインシンポジウム事務局
kiban_seminar@nistep.go.jp